



熊本健康・体づくりセンター

ヒアリング実施日時:2018年3月28日(水) 15:30-16:30

ヒアリング実施者:佐藤真治

ヒアリング対象者:主任 山下亮

施設住所:熊本県熊本市北区山室6丁目8の1

1. 施設の概要

熊本健康・体づくりセンターは平成元年に開設された指定運動療法施設である。熊本機能病院に併設されている利点を活かし、①トレーニングルームの運営、②市町村の介護予防事業、③外来の心臓リハビリテーション、④スポーツ選手の指導などの事業を展開している。

【ヒアリング結果】

- ① 施設のタイプはどのタイプですか 民間のスポーツクラブ
- ② 会員(登録者)数は何人くらいですか 300人程度
- ③ 利用者の年齢構成は 20歳未満(5%)、20代(5%) 30-40代(5%)、50代(15%)、60歳以上(70%)

2. 体力測定について

【ヒアリング結果】

- ① 身長、体重、皮脂厚などの測定を実施していますか 全員を対象にして実施
- ② 身長、体重、皮脂厚などの測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ③ 全身持久力測定を実施していますか 希望者のみ実施
- ④ 全身持久力測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ⑤ その他の体力測定を実施していますか 全員を対象にして実施
- ⑥ その他の体力測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ⑦ 指定運動療法施設ですか はい

3. 運動療法プログラムについて

【ヒアリング結果】

- ① 医療費控除対象者は月何人ですか? 10人未満
- ② 利用者が医療費控除の制度を活用できていると感じますか ほとんど活用できていない
- ③ 施設として、利用者に対して医療費控除の制度を積極的に周知していますか ほとんど周知していない
- ④ 施設として近隣の医療機関に医療費控除の制度を積極的に周知していますか ほとんど周知していない
- ⑤ 施設として近隣の医療機関と医療費控除の制度に関して連携していますか 連携している

4. 健康増進施設に関する課題や希望

・医療と健康増進施設の連携が不足している

→地域包括的ケアシステムの活用は解決策の一つ

まずは、ケア会議（行政、医療機関、介護施設、住民が参加）に健康増進施設の代表者が出席する。その上で、地域のサロンの代表者の方と顔つなぎをし、運動療法を必要とする人を紹介してもらう。

→Referral Network の構築

理解ある医師から簡便に健康増進施設を紹介できる IT プラットフォームの構築し、両者を橋渡しする。

（前提として、協力してもらえる医師を増やすために運動処方作成の手続きを簡素化することが必要）

・制度の認知度が低い

→メディアの活用を検討してはどうか

7. 所感

運動指導の現場責任者にヒアリングをご協力いただいた。具体的には「医療機関との連携不足」と「制度の認知度が低いこと」について解決策を示していただいた。特に「**地域包括的ケアシステムの活用**」は重要な提案であると感じた。現在、同システムは多くの自治体において医療と介護を連携することに成功しているが、予防との連携は事例が少ない。医療費の削減に予防的運動療法が果たす役割は論を待たない。同システムが更に成果を上げるためにも、地域の健康増進施設との接合は必要である。一方、同システムは住民主体が原則である。健康増進施設側も施設を飛び出し、地域の住民のニーズに応え後方支援する姿勢が今後必要となるであろう。

